ホスピタリティとアート

アートミーツケア学会
2013年度総会・大会

2013年11月16日（土）
11月17日（日）
金沢美術工芸大学 美大ホール、他

アートが潜在的にもっているちからが、近年、国内外のケアの現場において、さまざまなかたちで活かされつつあります。これに伴いケアの現場では、これからの医療の質のみならず、芸術教育の在り方も見直され、ひろくアートの再定義が迫られることになると思われます。今回の開催趣旨である「ホスピタリティとアート」は、ケアのなかの「もてなし」について問いかけたものです。これを機に、医療機関と美術表現教育の立場からそれぞれに見えてくる「創造」の意味をいっしょに考えてみませんか。ここでのアートとケアとの出会いが、より具体的な活動へと発展し、二十一世紀の新しいタイプのアートが生まれくることを期待します。

主催：アートミーツケア学会 2013年度金沢大会実行委員会、アートミーツケア学会　共催：金沢美術工芸大学

Programme ART MEETS CARE 2013 IN ISHIKAWA

11/16(sat)

12：00-13：00	受付　受付会場：金沢美術工芸大学美大ホール
13：00-13：20	開会あいさつ・オリエンテーション
13：20-14：20	講演１
14：20-14：30	休憩
14：30-15：30	講演２
15：30-15：45	休憩
15：45-17：00	会員企画によるトークセッション・ワークショップ
17：15-17：45	アートミーツケア学会 2013 年度総会
18：30-20：30	懇親会［一般 3000 円、学生 2000 円］ 会場：金沢 21 世紀美術館・Fusion21

11/17(sun)

9 ：15-10：00	受付　受付会場：金沢美術工芸大学美大ホール
10：00-12：00	プレゼンテーション （応募者による研究発表、実践報告、ワークショップ）
12：00-13：00	昼食休憩 お弁当の注文を承ります。［1,000 円］
13：00-13：30	ポスターセッション
13：30-15：30	分科会（選択制）

講演１

ホスピタリティから生まれるアート ～美大が病院と出会ってから～

「ホスピタリティアート・プロジェクト」の発起人である、金沢市立病院院長の高田院長からその趣旨についての説明があり、これを受けて活動を推進した金沢美大の立場から、横川教授が過去４年間の活動の概要およびこれからの展望について述べさせていただきます。

・なぜ、病院にアートが必要なのか

これからの医療のなかにもっとも必要とされる要素のひとつがアートであると考えます。「ホスピタリティアート」が目指す全人的医療は、以下の活動から成り立っています。安らぎと創造の空間としての病院づくり、知と美の融合に医芸共同教育の実践、そして新しいヘルスケア産業の創出です。

高田 重男　（金沢市立病院院長）

・新しいアートが生まれるケアの現場

芸術教育の場所を、美術大学から病院に移してみることによって、これまでの実習や制作のなかで見えなかった創作と伝達の喜びと意義が実感できるはずです。生命の尊厳や健康への感謝の体感、「弱い立場のひと」とのコミュニケーションや協働制作の意義と今後の課題と目標について報告します。

横川 善正　（金沢美術工芸大学教授）

講演２

切り札としての芸術（アート） ～健康で人間的な生き方を、全ての人に～

イギリスでは 1999 年以来、芸術は社会からこぼれそうな人々を含む、全ての人々や地域社会の再生の政策に役立てられてきました。30 年以上、芸術と医療福祉・教育の分野で実践研究をしているケイト先生が、近年注目されている Health, Well-being をキーワードに、人々の生き方へ影響をもたらす芸術の必要性とシステムを紐解きます。

ケイト・ブルーム　Kate Broom
（アーティスト、研究者、美術教育者、セラピスト。英国バーミンガム・シティ大学美術学部 修士課程 Art, Health and Well-being の開設者であり、前コースディレクター）

会員企画によるトークセッション・ワークショップ

▼トークセッション

A. 病院を「まち」と捉えるアート・デザインのあり方

岩田 祐佳梨　（筑波大学人間総合科学研究科芸術選考 筑波大学メディカルセンター病院アートコーディネーター）
高嶋　結　（元アスパラガス）
山口 悦子　（大阪市立大学医学部附属病安全管理対策室専任医師）
蓮見　崇　（札幌市立大学学長）

B. 表現の地平 ～臨床でのアートが向かうべき方向を探して～

藤原 ゆみこ　（アトリエプナン主宰・美術家）
鈴木 理恵子　（女子美術大学准教授）

C. D-S 哲学カフェ「ボーダーラインはどこにある？」

長津 結一郎　（diver-sion, 東京藝術大学音楽学部音楽環境創造科教育研究助手）
井尻 貴子　（diver-sion,Cafe-philo, 大阪大学大学院文学研究科臨床哲学博士前期課程修了）
三宅 博子　（diver-sion、神戸大学大学院人間発達環境学研究科）

D. なぜケアの現場でアートなのか

中村 美亜　（東京芸術大学）
中島 香織　（たんぽぽの家）

▼ワークショップ

E. 見える身体・見えない身体／触れる身体・触れない身体

弘田 陽介　（大阪総合保育大学）

▲ホスピタリティアート・プロジェクト「パレード」（金沢市立病院）

分科会（１７日）

A. 病院とアートの適切な関係？

病院に飾るのにふさわしいアート作品、病院で行うのに正しいアート活動というのはあるのでしょうか？小児科と精神科のクリニックにおける実践から、病院とアートの関係について考えます。

発表者：松田　明（まつだ小児科クリニック院長）
梅津 正史（美術博士、精神保健福祉士）
松浦　昇（東京藝術大学大学院映像研究科教育研究助手）
進　行：本間 直樹（大阪大学大学院文学研究科准教授）

B. ケアにおけるテクノロジーの可能性

コミュニケーションの促進、表現の支援、世代間の交流・・・今、ケアの現場で先端技術はどのような可能性をもち、どのようにいかされているのでしょうか。最先端の事例を通して考えます。

発表者：三輪 敬之（早稲田大学創造理工学部教授）
藤波　努（北陸先端科学技術大学院大学教授）
進　行：野津　亮（大阪府立大学大学院工学研究科准教授）

C. 美術大学での教育とケアの現場の関わり

～つくること、つたえること、とどけること～

美術大学と病院の連携によってうまれるアート活動は、大学の美術教育に、医療環境になにをもたらすのか。金沢市立病院におけるホスピタリティーアート・プロジェクトの実践と、各教育・医療機関における取り組みの紹介を通して考えます。

発表者：三浦 賢治（金沢美術工芸大学教授）
森田 ゆかり（金城大学短期大学部准教授）
山本 順子（石川県済生会金沢病院ホスピタルアート・コーディネーター）
浜崎 恵利（金沢市立野々市小学校非常勤講師）
司　会：横川 善正（金沢美術工芸大学教授）

D. アートを支える寄付文化の構築にむけて

社会のなかで必要なアート活動が継続していくためには、支える仕組みが必要です。どのように活動の意義を多くの人に伝え、共感を得て、支援の輪を広げていくことができるかを考えます。

発表者：島田　誠（ギャラリー島田代表、公益財団法人神戸文化支援基金代表理事）
大澤 隆夫（一般財団法人音楽の力による復興センター・東北代表理事）
進　行：岸本 幸子（公益財団法人パブリックリソース財団専務理事・事務局長）

▲ホスピタル・ギャラリー（金沢市立病院）　▲待ち時間を豊かにする椅子（金沢市立病院）

展示（ポスター）発表・プレゼンテーション発表者募集

募集要項をアートミーツケア学会のホームページからダウンロードし、必要事項をご記入のうえ事前にエントリーしてください。

エントリー期日：2013 年 10 月 5 日（土）

＊都合によりプログラムの一部を変更させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

design：Saori Shima.

参加申し込み方法

1. 受付申し込みフォームにご記入のうえ、学会事務局まで、E-mail、またはFaxにてお申し込みください。ウェブ上でも受け付けております。
2. 参加費(懇親会費、弁当代金等含む)をご入金ください。郵便局の郵便振替をご利用ください。振込手数料はご負担願います。払込用紙の受領証をもって領収証にかえさせていただきます。通信欄に「振込内容（内訳）」をご記入ください。

□座記号・番号　００９２０－４－２５２１３５　　加入者名　アートミーツケア学会

3. お申し込み完了となります。当日は受付でお名前をお知らせください。

参加費

1. 石川県外よりご参加のみなさま

参加費	一般（学会員）	学生（学会員）
両日	4,000円（2,000円）	2,000円（1,500円）
懇親会（11/16）夜	3,000円	2,000円
弁当（11/17）昼	1,000円	

2. 石川県内にて在勤、在学、在住のみなさま

参加費	一般	学生
両日	2,000円	1,000円
懇親会（11/16）夜	3,000円	2,000円
弁当（11/17）昼	1,000円	

申し込み／振込期限　2013年11月9日（土）

＊定員２００名に成り次第、締め切ります。
＊いったん、ご入金いただいた参加費は、原則としてご返金いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

お問い合わせ／お申し込み先

アートミーツケア学会　事務局
〒630-8044　奈良市六条西３-25-４　財団法人たんぽぽの家内
Tel.0742-43-7055 ／ Fax.0742-49-5501 ／ E-mail.art-care@popo.or.jp
URL. http://popo.or.jp/artmeetscare/

会場案内

【会場】金沢美術工芸大学（920-0942 石川県金沢市小立野５－11－1）

バス：金沢駅東口バスターミナル３番のりば
(11) 東部車庫行、(11) 金沢学院大学行、(11) 金沢東高校行、(12) 湯涌温泉行、(12) 北大薬学部行、(12) 北大太陽が丘行、(16) 駒帰行（乗車約 25 分）

金沢駅東口バスターミナル６番のりば
(13) 医王山行、(14) 田上住宅行、（乗車約 25 分）

金沢駅西口バスターミナル５番のりば
(10) 東部車庫行、(10) 金沢学院大行、(10) 金沢東高校行（乗車約２５分）
小立野バス停下車（徒歩約８分）

行先番号が「１０」「１１」「１２」「１３」「１４」であり、「兼六園下経由」と書かれているバスにお乗りください。行先番号が「１８であり」、「本多町経由」と書かれているバスは「小立野バス停」には止まりませんのでご注意ください。

タクシー：金沢駅から約２０分

参加申込フォーム　▶ Fax. 0742-49-5501

必要事項をご記入の上、該当する項目にチェックを入れてください。

ふりがな
お名前

ご所属（よろしければ、活動先・活動内容等をお書きください。特になければ記入不要です。）

住所（□ご自宅／□勤務先）
〒

連絡先
Tel（□自宅／□勤務先）
Fax（□自宅／□勤務先）
E-mail（□自宅／□勤務先）

区分
□ 石川県外よりご参加のみなさま
（□一般／□一般会員／□学生／□学生会員）
□ 石川県内にて在勤、在学、在住のみなさま　（□一般／□学生）

参加日程
□ 11月16日（土）　□ 11月17日（日）
□ 懇親会（11月16日夜）　□ 弁当（11月17日昼）

１７日（日）午後の分科会の選択希望
□分科会Ａ／□Ｂ／□Ｃ／□Ｄ

通信欄

＊お預かりした個人情報は、本大会の受付、および今後の学会活動に関するご案内のために使用いたします。